

# 自治連だより川越



- 発行一川越市自治会連合会
- 事務局一川越市役所 地域づくり推進課内  
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <http://kawagoejichiren.com/>

## 主な記事

- 2面…自治会連合会自治会長交流会開催  
防犯パトロール用誘導灯・通学路用のぼり旗を作製
- 3面…市長と自治連役員・地域を代表する女性との懇談会  
名細支会で青パト購入  
春の全国交通安全運動  
川越市自主防災会連絡会視察研修
- 4面…小堤自治会館新築  
緑の募金へのご協力を！  
平成30年度川越市自治会連合会自治会長研修会・定期総会  
「川越子どもサポート発表会」開催  
編集後記

## 平成29年度を振り返って

川越市自治会連合会 会長 荻野 貴

平素は、各自治会の皆様には、川越市自治会連合会の諸活動に対して温かいご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、昨年度を振り返りますと、平成29年10月に台風第21号が埼玉県に最接近し、市内の広範囲で浸水被害が発生しました。この事態を受け、自治連では義援金活動を行い、1,400万円を超える浄財が寄せられました。義援金は川越市を通じ、全額が被害に遭われた皆様へ届けられます。改めまして、ご協力をいただきました皆様に、厚く御礼を申し上げます。

また、環境美化活動としまして、10月29日(日)の「健康まつり」、11月18日(土)の「農業ふれあいセンターまつり2017」において、ブルーベリーの苗木を配布しました。

さらに、11月13日(月)には、交通安全対策推進事業として、名細小学校において、恒例となりましたプロのスタントマンによる交通安全教室を行いました。名細小・中学校の児童・生徒のほか、保護者、関係団体など、約700人が参加し、参加者にとって交通事故の恐ろしさと交通ルール順守の大切さを学ぶよい機会になったと感じました。



「健康まつり」における苗木配布



恐ろしい交通事故の再現(11.13交通安全教室)

また、本年1月25日(木)には、川越氷川会館において、初の試みとなる自治会長交流会を開催しました。第1部で講演会、第2部で懇親会を行い、日頃交流が少ない自治会長同士の、貴重な交流の場となりました。

さらに、2月1日(木)には、川合市長をお招きし、「市長と自治連役員・地域を代表する女性との懇談会」を開催しました。自治会活動や、育成会、PTAの活動を通して感じていることや、市に対する要望などについて、忌憚のない意見交換ができました。

以上のほかにも、自治連では昨年度、住民ニーズを踏まえた多くの事業を実施しました。今年度も「住民自治」を旗印に、安全安心のまちづくりを目指して活動してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 台風第21号による浸水被害に係る義援金を贈呈

このたびは、台風第21号による浸水被害に係る義援金に対する温かいご協力、誠にありがとうございました。各自治会の皆様のご協力によりまして、総額14,495,638円もの義援金が寄せられました。お預かりしました義援金は、1月23日(火)に、川合善明川越市長へ贈呈いたしました。

被害に遭われた皆様が一日も早く元の生活を取り戻せますよう、心からお祈りいたしております。



## 自治会連合会自治会長交流会開催

平成30年1月25日（木）、川越氷川会館において自治会長交流会が開催されました。

第1部の講演会は、講師に医療法人真正会理事・社会福祉法人真寿会副理事長の荻野光彦氏をお迎えし、「『老いるということ』～介護が必要になったとき どこで暮らしますか～」と題してご講演いただきました。

荻野先生は、川越市の人口ピラミッドの推移、「すこやかプラン・川越」の川越市高齢者福祉計画・第7期川越市介護保険事業計画などの数字を引用して、介護と向き合う現実、自分の子どもに老後の面倒を見てもらいたいのか、自分が老いることを真剣に考えたことがあるか一などについてお話しされました。

ここでは、講演の中で特に印象に残った点を挙げますと、まず、利用できるサービスとして(1)居宅サービス、(2)施設サービス、(3)地域密着型サービスがあるという点、また、いわゆる2025年問題を控えて、ケアマネを選ぶときのポイント、介護サービス事業者を選ぶときのチェックポイントなどについても今から考えておいてほしいという点です。

荻野先生は、良いと思える介護施設の選び方として、①利用前の見学を受け入れてくれるか、②施設全体が見学できて、かつ丁寧に説明してくれるか、③施設全般の見学時排泄臭が気にならないか、④働いている職員の表情に明るさと優しさを感じ取れるか、⑤実際に利用したときに親身になって付き合ってくれそうか、⑥できれば地域の口コミ評価を参考にする一を挙げられました。皆さんも事業者選びの参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

講演会は、自治会長にとって大変有意義な内容のもので、講演会後に行われた懇親会も、自治会長同士の貴重な意見交換・交流の場ともなりました。



荻野先生の講演に熱心に耳を傾ける自治会長

### ご存じですか？（講演の中から）

65歳以上の夫婦で夫が妻の死を看取るケースは約15%、その逆は85%だそう。さらに連れ合いに先立たれてからの平均余命は、男性は約5年、女性はなんと約22年もあるという。平均寿命を考えれば当然のことだが、改めて男女の違いを強く感じてしまう。

一般的に妻に先立たれた男性はいかにも寂しげでつらそう。しかし、女性は、夫が生きていたときよりもハツラツと余生を楽しんでいるように見える。より明るくきれいになっている人が多いようだ。

## 防犯パトロール用誘導灯・通学路用のぼり旗を作製

自治会連合会では、地域の安全・安心の防犯対策事業・青少年健全育成事業の一環として、防犯パトロール用誘導灯・通学路用のぼり旗を作製し、各自治会に配付しました。

のぼり旗については若干の予備がありますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

（旗用のポールはありません。）

事務局（川越市地域づくり推進課内）

電話：224-5705





## 市長と自治連役員・ 地域を代表する女性との懇談会

平成30年2月1日(木)、川越氷川会館において、川合市長と自治連役員(常任理事)・地域を代表する女性との懇談会が開催されました。

まず午前の部として、市長と自治連役員との懇談会が進められました。冒頭、東京オリンピック2020について市からの説明があり、これに対して市長と参加者の間で、活発な意見が交わされました。

昼食の後、午後の部として、市長と地域を代表する女性との懇談会が行われました。地域を代表する女性は、各支会から2名ずつ推薦され、主に自治会役員、PTAや育成会などで活躍されている方々が参加しました。

自治会やPTA、育成会活動に限らず、市政に関して女性の目線からの感じなど、多くの意見が出されました。こちらも、市長が意見に対して一つひとつ丁寧に回答しました。

終了後には多くの方々が笑顔で会場をあとにしました。



## 名細支会で青パト購入

名細支会では、地域の一層の「安全・安心」の活動を行うため、青パトを購入しました。平成30年度より活動します。



## 春の全国交通安全運動

川越市交通安全推進協議会(会長・川合善明市長)は、4月6日(金)から4月15日(日)に「春の全国交通安全運動」を実施します。自治会連合会では、同協議会の構成団体として、川越市や川越警察署、川越交通安全協会などの関係機関・団体とともに、例年この交通安全運動の推進に取り組んでいます。

交通安全運動は、市民の方に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールへの順守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、市民自身が道路環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

平成29年の本市の交通事故の発生状況は、交通事故死者数は前年の5人から8人となり、人身事故件数は296件減の1,411件でした。

また、平成30年度の川越市における交通事故防止の重点目標は、高齢者や子どもの自転車事故が多いことから、「高齢者と子どもの自転車乗用中の交通事故防止」となりました。自転車乗用中の交通ルール等を再確認し、交通事故を防止しましょう。

「春の交通安全運動出発式」は、4月6日(金)午前10時からウェスタ川越交流広場で開催されます。市民の皆さんもぜひ会場にお越しください。(雨天中止)

## 川越市自主防災会連絡会視察研修

2月5日(月)、川越市自主防災会連絡会は、会員88名が参加し、茨城県常総市役所及び鬼怒川決壊箇所において、視察研修を行いました。常総市は、平成27年9月の関東・東北豪雨災害により、鬼怒川堤防が決壊し、市の3分の1の地域が浸水する被害を受けました。

本研修では、常総市役所において、同市職員より「平成27年9月関東・東北豪雨災害概要と教訓・取組事項」について、また、鬼怒川決壊箇所の現地を視察し、国土交通省職員より現地対応について、それぞれ説明を受けました。

また、多くの自主防災組織が参加されたことで、各組織間の情報交換や親睦も深められ、参加者にとって有意義な研修となりました。



### 小堤自治会館新築

平成30年2月に小堤自治会館が完成しました。新たな地域コミュニティ活動の拠点として、多くの方々に様々な目的でご利用いただき、今まで以上に地域が活性化することが期待されます。



所在地：小堤289-10  
構造：木造平家建て  
延床面積：145.75㎡

### 緑の募金へのご協力を!

緑の募金は、公共施設等の緑化を推進し、緑に親しむ環境づくりを進め、快適で住みよい緑豊かな郷土づくりに寄与しています。

#### 【募金期間】

平成30年5月1日(火)～5月31日(木)

#### 【募金の使途】

募金の一定割合が川越市に交付され、その交付金を活用して、自治会館や小中学校等の公共施設の緑化事業を実施します。

#### 【問い合わせ先】

川越市環境政策課 みどりの担当  
電話：224-5866



脇田新町自治会館の緑のカーテン

### 平成30年度 川越市自治会連合会 自治会長研修会・定期総会

今年度の自治会長研修会・定期総会は、次のとおり実施する予定です。

日時：平成30年5月30日(水)  
午後2時から 自治会長研修会  
午後3時から 定期総会  
場所：川越氷川会館 3階 鳳凰の間

### 「川越子どもサポート発表会」開催

2月17日(土)、やまぶき会館において、「川越子どもサポート発表会」が開催されました。

発表会は、子どもたちの「生きる力」をほぐむために、学校・家庭・地域がどのように連携を進めていけばよいのか、その取り組みについて、実践発表を中心にみんなで考える機会として実施したものです。当日は各地区サポート委員をはじめ、学校関係者、保護者、自治会の方など約340名が参加しました。

会の冒頭、遠藤克弥子どもサポート本部長より、子どもサポート事業が平成29年度『地域学校協働活動』推進に係る文部科学大臣表彰を受賞したことが紹介され、各地区のサポート活動にかかわる委員にとっては、今までの活動が評価された喜びとともに、今後の活動推進への意欲向上につながりました。

会の中では、14地区のうち、11地区の活動がダイジェストで紹介されました。その後行われた、今年度発表地区の芳野地区、中央北地区、霞ヶ関地区のプレゼンテーションでは、具体的な活動の様子や、将来の活動に向けた提案が発表されました。

各地区の活動発表の後、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」のベスト見つけ賞(金賞)の児童・生徒の作品発表と表彰が行われました。各部門(作文・絵画・新聞)の受賞者の発表は大変素晴らしく、会場から盛大な拍手をいただき、和やかな雰囲気になりました。

#### ベスト見つけ賞(金賞)受賞の皆さん

作文 低学年の部	川越第一小3年	西條 拓実さん
作文 高学年の部	仙波小5年	瀬田 恒太さん
絵画 低学年の部	福原小3年	望月 夏音さん
絵画 高学年の部	古谷小6年	永嶋まい花さん
絵画 中学生の部	大東西中3年	小野崎愛奈さん
新聞 低学年の部	川越第一小3年	関根 瑠里さん
新聞 高学年の部	山田小6年	飯田 静華さん
新聞 中学生の部	山田中1年	内藤真菜実さん

### 編集後記

今回の平昌五輪は、日本選手の大活躍で感動しました。引き続き行われたパラリンピックも、多くのメダルを獲得しました。

本年度より新しいコーナーを設けました。このコーナーは、記事や編集に携わるメンバーがいろいろな思いを記述するコーナーです。

これからも皆さんに『感じる紙面』をめざします。どうぞよろしくお願いいたします。(H. K)